

---

# 宇宙怪獣

あまつか比呂

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

宇宙怪獣

### 【Nコード】

N7164T

### 【作者名】

あまつか比呂

### 【あらすじ】

今まさに地球に危機がおとずれようとしている。  
宇宙怪獣が侵略を開始したのである。  
標的は東京。

しかし、今の東京は今日も平和で。

東京へ今、まさに宇宙怪獣が侵略を開始しようとしている。  
宇宙怪獣は、大圏まで進行し、東京の上空八十キロの所まできていた。

まさに地球の、そして、東京の危機である。

しかし東京の街は、

宇宙怪獣が進行しているにも関わらず、今日も平和に一日が過ぎていた。

1999年7の月、恐怖の大王が降りてくるといふ予言があった。  
当日。

実際には、何も起こらず、平和に過ぎていった。

だから宇宙怪獣の進行にどこかの誰かが気づいたとしても。

今、宇宙怪獣が進行していると叫んだりしたらオオカミ少年になるだけだろう。

しかし危機は、

確実に刻一刻と東京に迫りつつあるのだ。

監視衛星の目をすり抜け、

宇宙怪獣は、どんどんと東京に迫っていった。

宇宙怪獣を止められるモノは、もうどこにもなかった。

遂に宇宙怪獣は、東京にたどり着いた。

……が。

我々は、ここで重大な事を見落としている事に気づく。

宇宙怪獣の大きさである。

今回、東京を襲った宇宙怪獣は、蚊ほどの大きさしかないのだ。  
危機と書いたが、アレは間違いだった。

ほどなく蚊と同様、誰かに潰されるのがオチであろう。  
プチット。  
そう思う。

「ああ。平和だ」と、誰かが、あくびをした。  
あくびをした口の中に宇宙怪獣は、吸い込まれていった。  
潰されるまでもなかったか。

とにかく、こうして今日も地球の平和は守られた。

「げえ」。最悪。虫、飲んじまったよ」という言葉と共に。

宇宙怪獣、了。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7164t/>

---

宇宙怪獣

2011年10月5日18時08分発行